

高校生の親は、子どもが自立し、社会で活躍できるよう、適切なサポートをすることが重要です!!

子どもの発達段階の特徴と重視すべき課題

青年中期 (高等学校)

- 親の保護のもとから、社会に参画し貢献する、自立した大人となるための最終的な移行時期です。思春期の混乱から脱しつつ、大人の社会を展望するようになり、大人の社会でどのように生きるのかという課題に対して、真剣に模索する時期です。
- 現在、我が国では、こうした大人社会の直前の準備時期であるにもかかわらず、自らの将来を真剣に考えることを放棄したり、目の前の楽しさだけを追い求める刹那主義的な傾向の若者が増加しています。さらには、特定の仲間の集団の中では濃密な人間関係を持ちますが、集団の外の人に対しては無関心となり、社会や公共に対する意識・関心の低下といった指摘があります。
- これらを踏まえて、青年中期の子どもの発達において、重視すべき課題としては、以下があげられます。
 - ・人間としての在り方生き方を踏まえ、自らの生き方について考え、主体的な選択と進路の決定
 - ・他者の善意や支えへの感謝の気持ちとそれにこたえること
 - ・社会の一員としての自覚を持った行動

高校生の親の役割は・・・

子どもが自己決定力を養い、主体的に人生を歩めるようにサポートすることが大切です。具体的には、子どもの話を聞き、進路や将来について一緒に考え、生活の安全を保障し、学びの場を整えるなど、多岐にわたるサポートが必要です。過干渉や過保護にならないように、子どもが主体的に行動できる環境を整え、信じて見守ることが大切です。

[詳細な役割]

- ① 自己決定力を養うサポート
子どもの意見を尊重し、進路や将来について一緒に考え、最終的には子ども自身が判断できるようサポートする。
- ② 学びの場を整える
勉強の重要性を共有し、モチベーションを維持できるように支援する。勉強計画の立案や進捗確認など、具体的なサポートも有効です。
- ③ 生活の安全を保障する
身体的、精神的、物質的な安全を保障し、安全な生活環境を提供する。
- ④ コミュニケーションを大切にする
子どもの気持ちや考えを聞き、共感し、適切なアドバイスをする。
- ⑤ 過保護・過干渉にならない
子どもが自分で考え、行動できるよう、見守る姿勢が大切です。
- ⑥ 自己肯定感を高める
子どもの良いところを認め、自信を持てるように促す。
- ⑦ 将来を見据える
子どもが将来の夢や目標を持ち、それに向けて努力できるようサポートする。

※注意点

- I 過干渉にならない
子どもの成長を邪魔するような、管理的な接し方は避ける。
- II 過保護にならない
子どもに頼らせず、自分でできることを増やせるようにサポートする。
- III 比較しない
他の子と比較するのではなく、子どもの個性を尊重する。
- IV プレッシャーをかけない
子どもが自由に自己表現できる環境を整える。

※その他

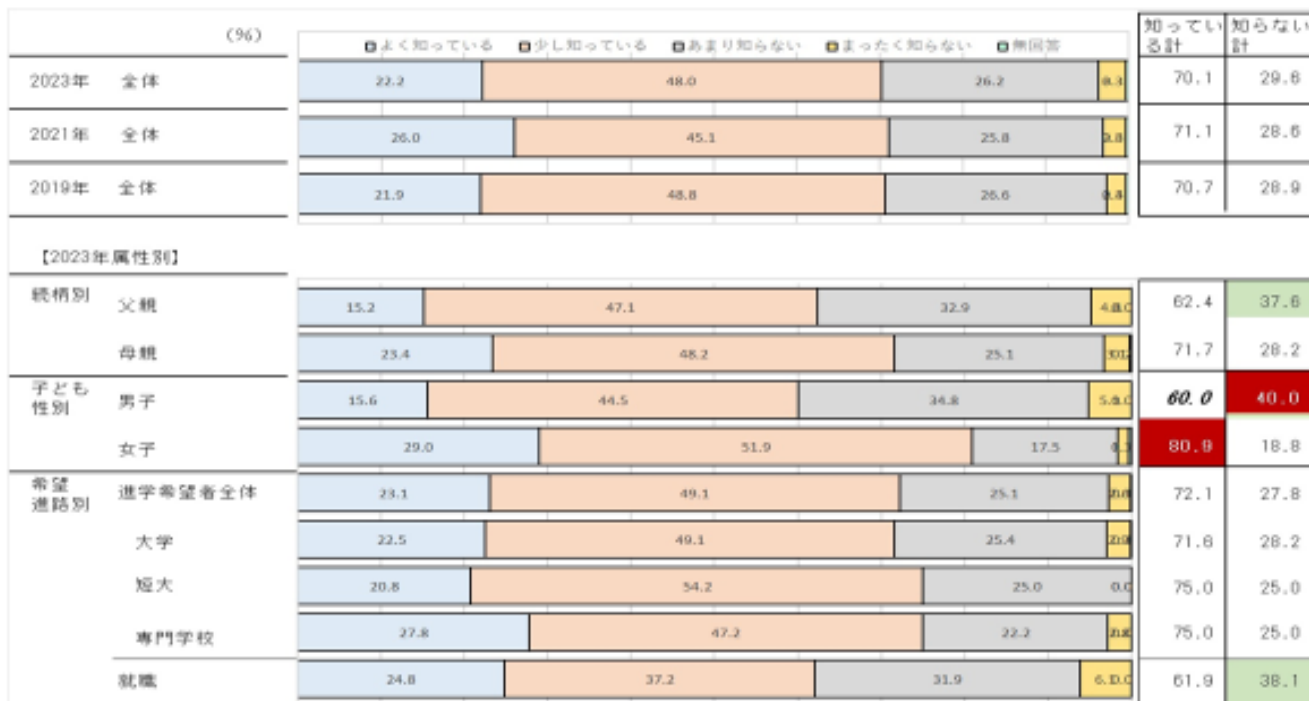
- I 親も成長
子育てを通じて、親自身も成長できる機会と捉える。
- II 地域社会との連携
地域社会の資源を活用し、子どもの成長をサポートする。



高校生の希望進路・進路の悩み共有度

第11回「高校生と保護者の進路に関する意識調査」2023年
(一般社団法人全国高等学校PTA連合会・㈱リクルート合同調査)

【保護者】子どもの進路に関する悩みや不安を知っているか (全体/単一回答)



第11回「高校生と保護者の進路に関する意識調査」2023年
(一般社団法人全国高等学校PTA連合会・㈱リクルート合同調査)

【保護者】子どもの希望進路や、進路に対する考えを知っているか (全体/単一回答)

